

ネットワークカメラ 簡単設定マニュアル

- 人感センサーに連動して白色LEDを光らせる
- 人感センサー等に連動してアラーム音を鳴らす (Voice Alert機能)
- microSDに映像を記録する (Edge Storage機能)
- 困ったときは？

上記の機能の設定方法を記載しています。
これらの機能をご利用になる場合は、設定が必要になります。

必ず、お読みください。

ソフトウェアバージョン1.11.0
SNC-CX600W/CX600

PELA

目次

はじめに

- カメラとコンピューターをネットワーク接続し、映像を確認する
- 管理者ユーザー名とパスワードを入力する
- 管理者ユーザー名とパスワードを変更する

1. 人感センサーに連動して白色LEDを光らせる

- 1-1. カメラの設定を変更する
 -  白色LEDの点灯時間と明るさを変更する
- 1-2. 白色LEDの動作を確認する

2. 人感センサー等に連動してアラーム音を鳴らす (Voice Alert機能)

- 2-1. SNC audio upload toolをインストールする
- 2-2. サンプル音声をコンピューターにダウンロードする
- 2-3. サンプル音声をカメラにアップロードする
- 2-4. カメラの設定を変更する (人感センサー連動)
 -  音声のリピート回数と音量を設定する

3. microSDに映像を記録する (Edge Storage機能)

- 3-1. microSDを準備する
 - 3-1-1. ソフトウェアバージョン1.10.0以前のカメラを使う場合
 - 3-1-2. ソフトウェアバージョン1.11.0以後のカメラを使う場合
- 3-2. カメラの時刻を設定する
- 3-3. カメラの設定を変更する
 - 3-3-1. 常時記録を行う場合
 - 3-3-2. イベント記録を行う場合
 - 3-3-2-1. 単一のイベント条件を設定する (人感センサー連動)
 - 3-3-2-2. 複数のイベント条件を設定する (人感センサー/動体検知連動)
- 3-4. 録画された映像を再生する / 保存する / 削除する

4. 困ったときは?

- 4-1. 白色LEDを強制点灯させたい
 - 4-1-1. ソフトウェアバージョン1.10.0以前のカメラを使う場合
 - 4-1-2. ソフトウェアバージョン1.11.0以後のカメラを使う場合
- 4-2. 人感センサーの反応を確認したい
- 4-3. 映像を記録するときに録音したい
- 4-4. 管理者ユーザー名やパスワードがわからない
- 4-5. カメラのソフトウェアバージョンを確認したい
- 4-6. ブラウザ上で停止してしまった映像を復帰させたい

はじめに

– カメラとコンピューターをネットワーク接続し、映像を確認する

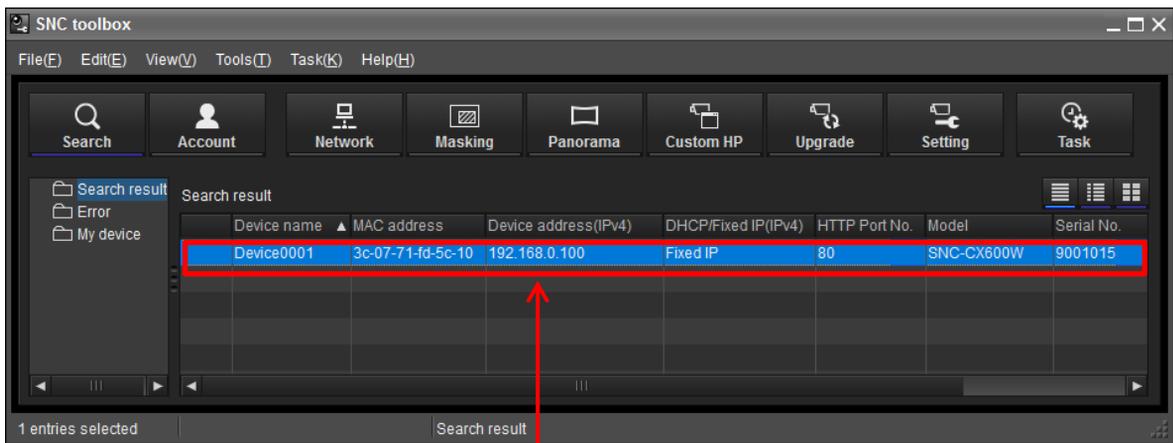
クイックスタートガイドに従って以下の設定を行ってください。

1. カメラの準備を行う。
2. カメラとコンピューターをネットワーク接続する。
3. 下記URLから「SNC toolbox」のインストーラーをダウンロードし、コンピューターにインストールする。
URL : <http://www.sony.net/ipela/snc>



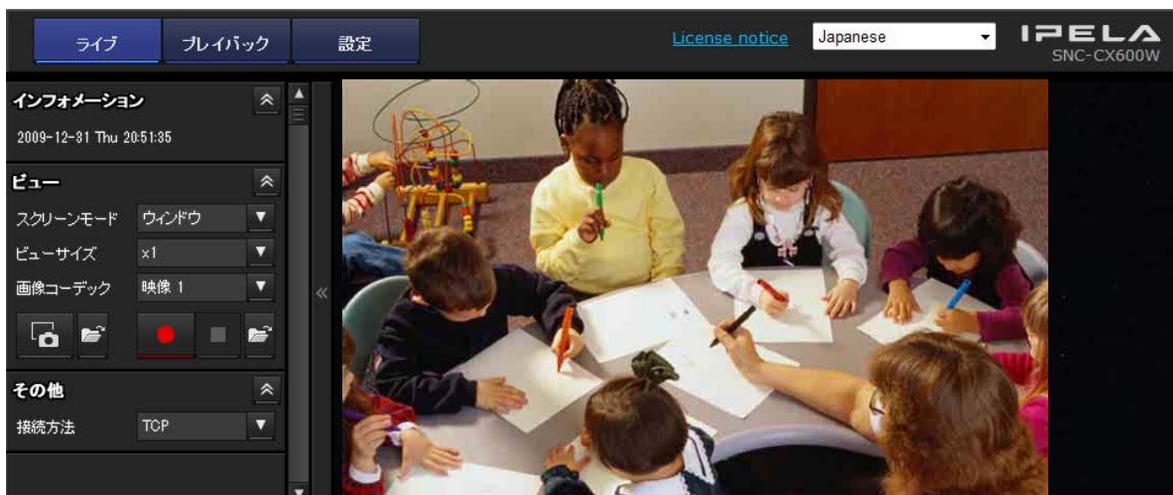
インストール方法や使用方法の詳細については、アプリケーションガイドをお読みください。

4. 「SNC toolbox」を起動し、リスト上のモデルをダブルクリックする。



ダブルクリックする

5. Webブラウザでカメラの映像を確認する。



詳細については、CX600Wはクイックスタートガイド（同梱）
CX600は設置説明書（同梱）の“接続”をお読みください。

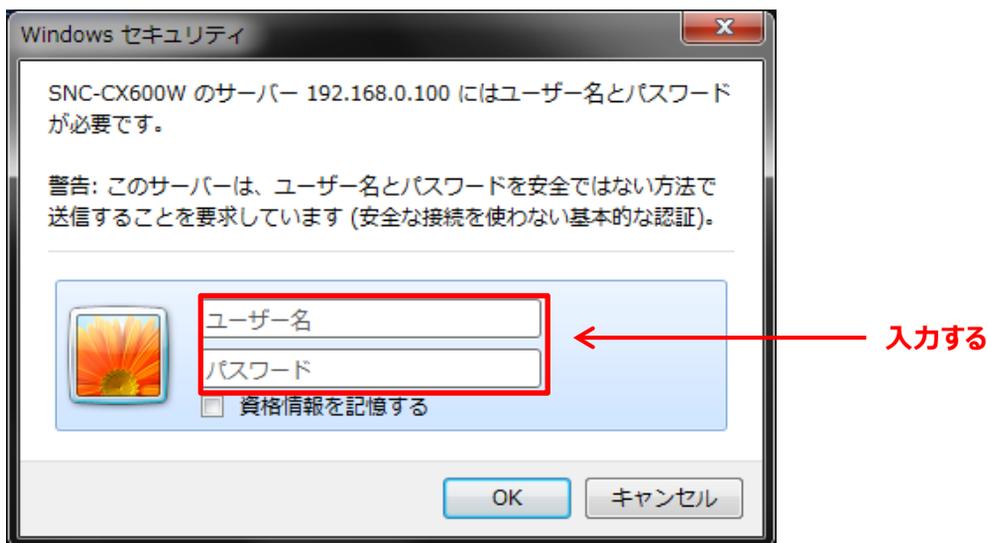
– 管理者ユーザー名とパスワードを入力する

カメラの設定等を行う際に必要な、管理者ユーザー名とパスワードを入力します。

1. メインメニューの[設定]をクリックする。



2. 管理者ユーザー名とパスワードを入力する。



 管理者ユーザー名とパスワードの初期設定は、クイックスタートガイドの“初期化について”
または、ユーザーガイドの“管理者設定メニューの基本操作”をお読みください。

– 管理者ユーザー名とパスワードを変更する

セキュリティを確保するために工場出荷時の初期設定から
必ず、管理者ユーザー名とパスワードを変更してください。

1. [セキュリティ]をクリックする。

クリックする



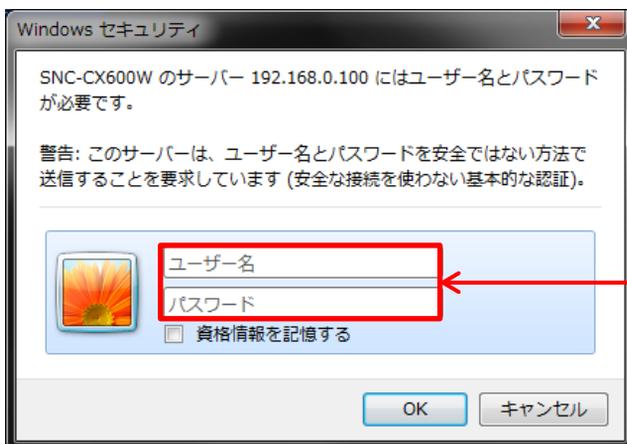
2. [ユーザー]の管理者の欄に新しいユーザー名とパスワードを記入し、[OK]をクリックする。



新しい管理者
ユーザー名
とパスワードを
入力する

クリックする

3. 変更後の管理者ユーザー名とパスワード入力する。



変更後の管理者ユーザー名
とパスワードを入力する

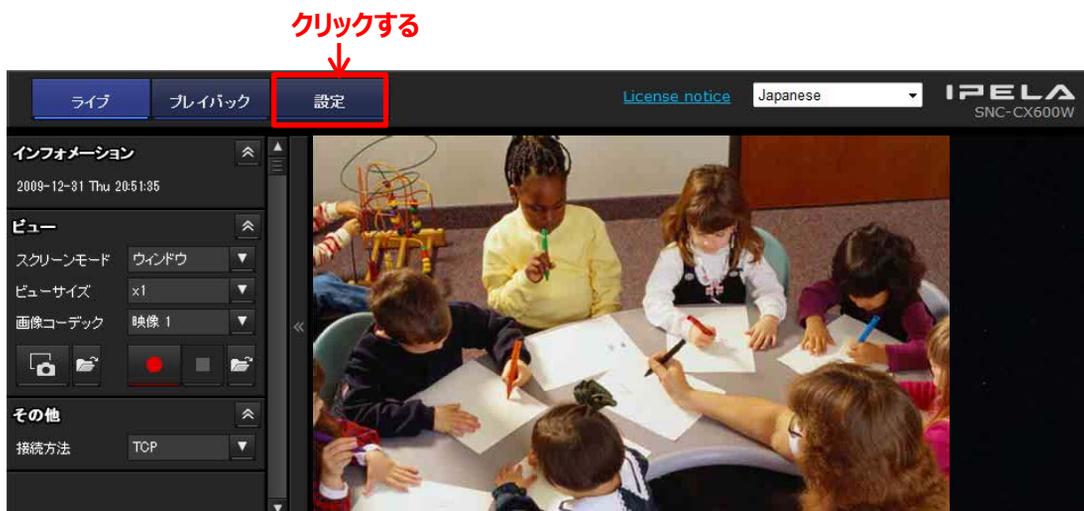
1. 人感センサーに連動して白色LEDを光らせる

◆ 周りが暗い環境で人感センサーが反応したときに、白色LEDを点灯させる機能です。

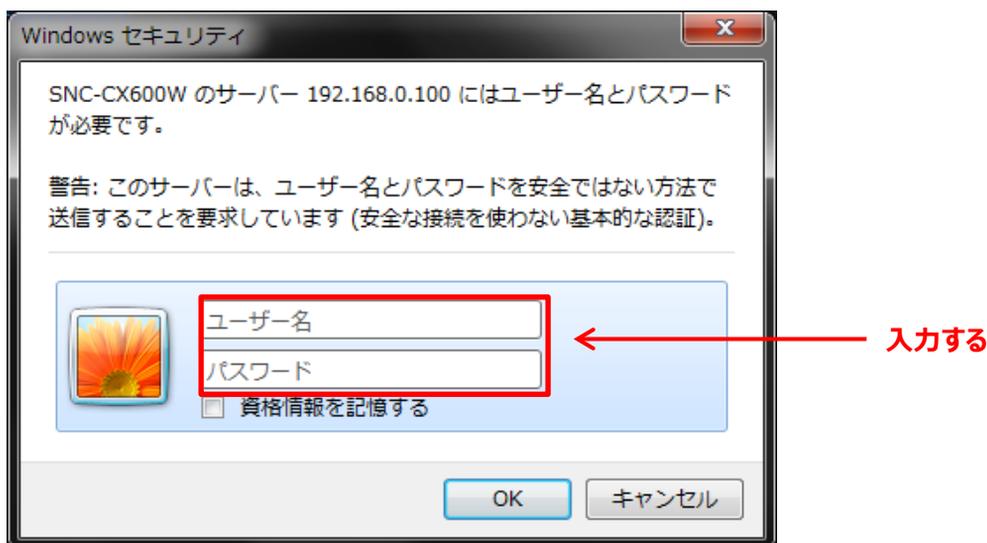
 人感センサーは、人や動物等から放射される赤外線が変化した事を検知するセンサーです。

1-1. カメラの設定を変更する

1. メインメニューの[設定]をクリックする。



2. 管理者ユーザー名とパスワードを入力する。



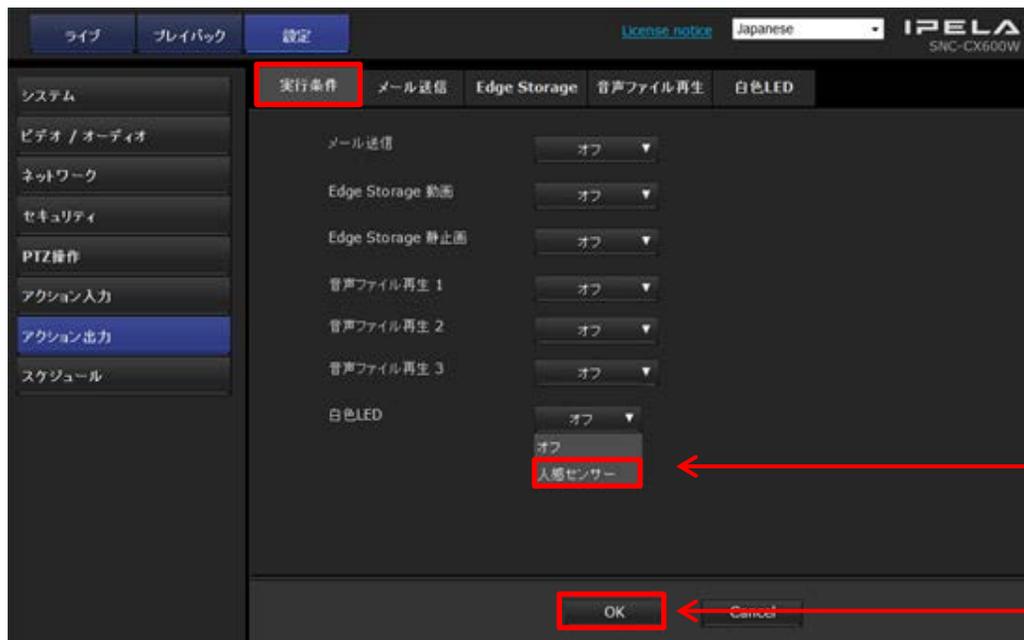
 管理者ユーザー名やパスワードを忘れた場合は
“4-4. 管理者ユーザー名やパスワードがわからない”をお読みください。

3. [アクション出力]をクリックする。



クリックする

4. [実行条件]で、白色LEDを人感センサーに設定し、[OK]をクリックする。



人感センサー
を選択する

クリックする



[OK]クリック後、白色LEDの設定が、人感センサーに変更されていれば設定完了です。



白色LEDの点灯時間と明るさを変更する

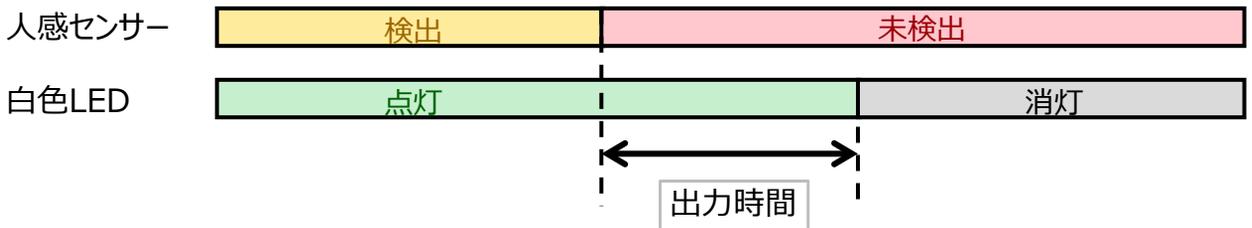
[アクション出力]の[白色LED]で、点灯時間（出力時間）と明るさ（照射強度*）が設定できます。

*ソフトウェアバージョン1.10.0以前では最大強度と表示されます。

The screenshot shows the '白色LED' (White LED) configuration page. The '照射強度' (Irradiance) dropdown is set to '4'. The '出力時間' (Output Time) is set to '00' minutes and '05' seconds. The 'OK' button is highlighted at the bottom right. Red annotations with arrows point to these elements, with labels: '明るさを設定する' (Set brightness), '点灯時間を設定する' (Set lighting time), and '設定後クリックする' (Click after setting).

ご注意

- 出力時間は人感センサーが反応を停止してからの継続時間です。人感センサーが反応している間は点灯状態が維持されます。



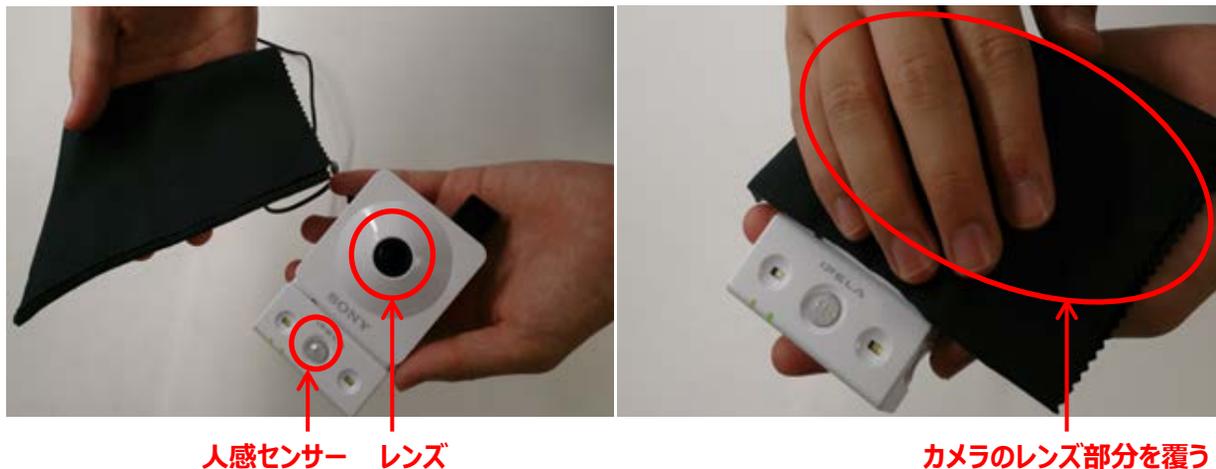
- 照射強度は1～6の6段階で設定できます。数値が大きいほど明るくなります。



1-2. 白色LEDの動作を確認する

人感センサーと白色LEDが連動していることを確認します。**ソフトウェアバージョン1.11.0以後のカメラをお使いの場合は、以下の手順の「2.」をスキップして下さい。**

1. レンズに手を直接触れないようハンカチ等を用意し、**カメラのレンズ部分に光が入らないよう完全に覆う。**（部屋を暗くできる場合はこの手順を行わずに、部屋を暗くしてください。）



2. カメラの人感センサー部分を覆う。



3. **約5秒**経過後、白色LEDを**直視しない**ように、人感センサーを覆っていた手を離し、人感センサーの前で手を振り、白色LEDが点灯することを確認する。



2. 人感センサー等に連動してアラーム音を鳴らす (Voice Alert機能)

◆特定の条件を満たしたときに、カメラのスピーカーから警報を鳴らす機能です。

- 設定できる条件は以下の通りです。
 - ・カメラ妨害検知
 - ・動体検知
 - ・VMF (Video Motion Filter)
 - ・顔検知
 - ・ネットワーク切断
 - ・人感センサー

2-1. SNC audio upload toolをインストールする

「SNC audio upload tool」は、音声ファイルをカメラにアップロードするために使用します。

1. インターネットで下記URLにアクセスする。
URL : <http://www.sony.net/ipela/snc>
2. Utility & Softwareで「SNC audio upload tool」のzipファイルをダウンロードする。
3. ダウンロードしたファイルを右クリックしてzipファイルを展開し、exeファイルを起動する。
4. 規約に関する記述があれば一読し、承諾にチェックして次へ進む。
5. インストール先等必要があれば変更し、最終確認の後インストールを開始する。

完了の画面が出れば「SNC audio upload tool」のインストールは終了となります。

2-2. サンプル音声をコンピューターにダウンロードする

Voice Alert機能を使用するには、サンプル音声をインターネットからダウンロードする必要があります。

1. インターネットで下記URLにアクセスする。
URL : <http://www.sony.net/ipela/snc>
2. 取得したいサンプル音声をクリックし、コンピューターの任意の場所に保存する。

ご注意

ダウンロードした音声ファイル（vofファイル）は「SNC audio upload tool」でのみ試聴可能です。試聴方法は“2-3. サンプル音声をカメラにアップロードする”の手順2をお読みください。

2-3. サンプル音声をカメラにアップロードする

1. カメラとコンピューターをネットワーク接続し、「SNC audio upload tool」を起動し、
 - ① 音声をアップロードするカメラのチェックボックスに チェックをいれる。
 - ② カメラの管理者ユーザー名とパスワードを記入する。
 - ③ [Voice alert]をクリックする。

①チェックする

②管理者ユーザー名とパスワードを記入する

③クリックする

管理者ユーザー名やパスワードを忘れた場合は“4-4. 管理者ユーザー名やパスワードがわからない”をお読みください。

2. 音声を選択する。

- ① ファイルオープン () をクリックし、“2-2. サンプル音声をコンピューターにダウンロードする”でダウンロードした音声ファイルを指定する。
- ② 左上部に指定したファイル名が反映されていることを確認する。
- ③ 音声を確認する。
- ④ クリックして、アップロードするカメラを選択する。
- ⑤ クリックして、音声ファイル再生番号を選択する。

①クリックして音声ファイルを指定する

②ファイル名を確認する

③音声を確認する

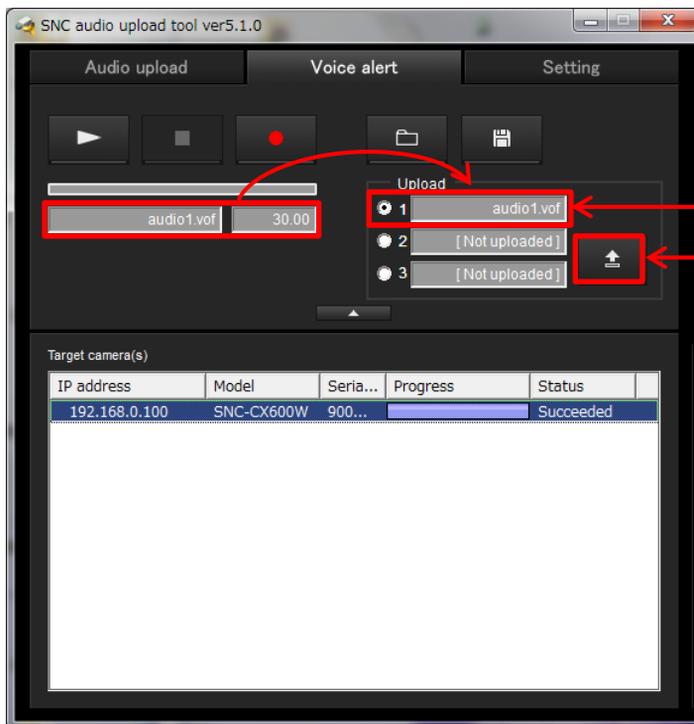
④クリックしてアップロードするカメラを選択する

⑤クリックして音声ファイル再生番号を選択する

3. アップロードする。

①アップロード（）をクリックし、アップロードを開始する。

②Status欄にSucceededと表示され、選択した音声ファイル再生番号にファイル名が反映されていることを確認する。



②ファイル名が反映されていることを確認する

①クリック後、アップロード開始する



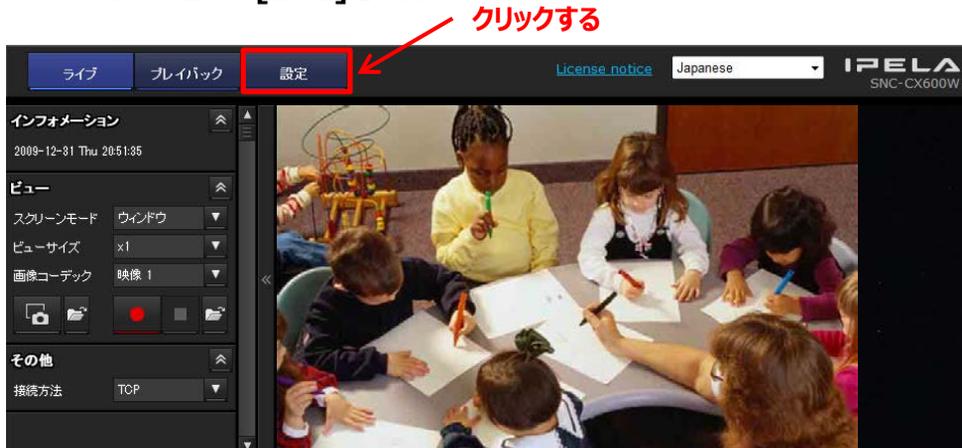
audio upload toolの使い方及び詳細の機能に関してはアプリケーションガイドをお読みください。
アプリケーションガイドは下記URLからダウンロード可能です。

URL : <http://www.sony.net/ipela/snc>

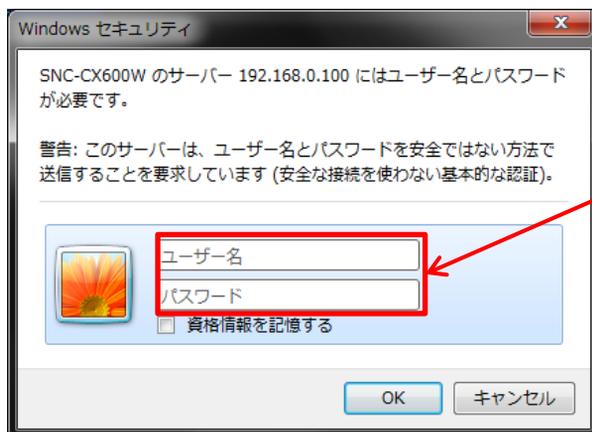
2-4. カメラの設定を変更する

ここでは人感センサーが反応した際、カメラにアップロードした音声を鳴らす設定を行います。

1. メインメニューの[設定]をクリックする。

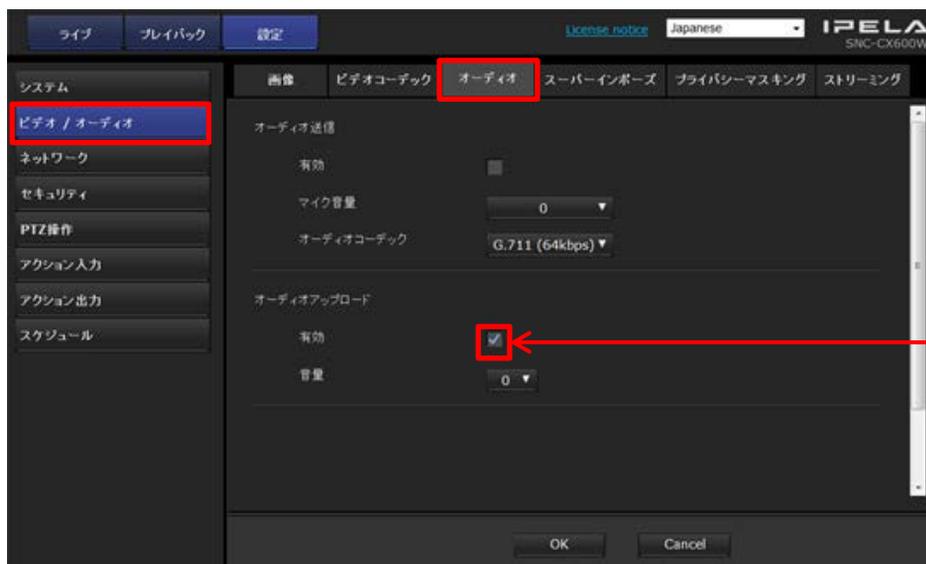


2. 管理者ユーザー名とパスワードを入力する。



 管理者ユーザー名やパスワードを忘れた場合は“4-4. 管理者ユーザー名やパスワードがわからない”をお読みください。

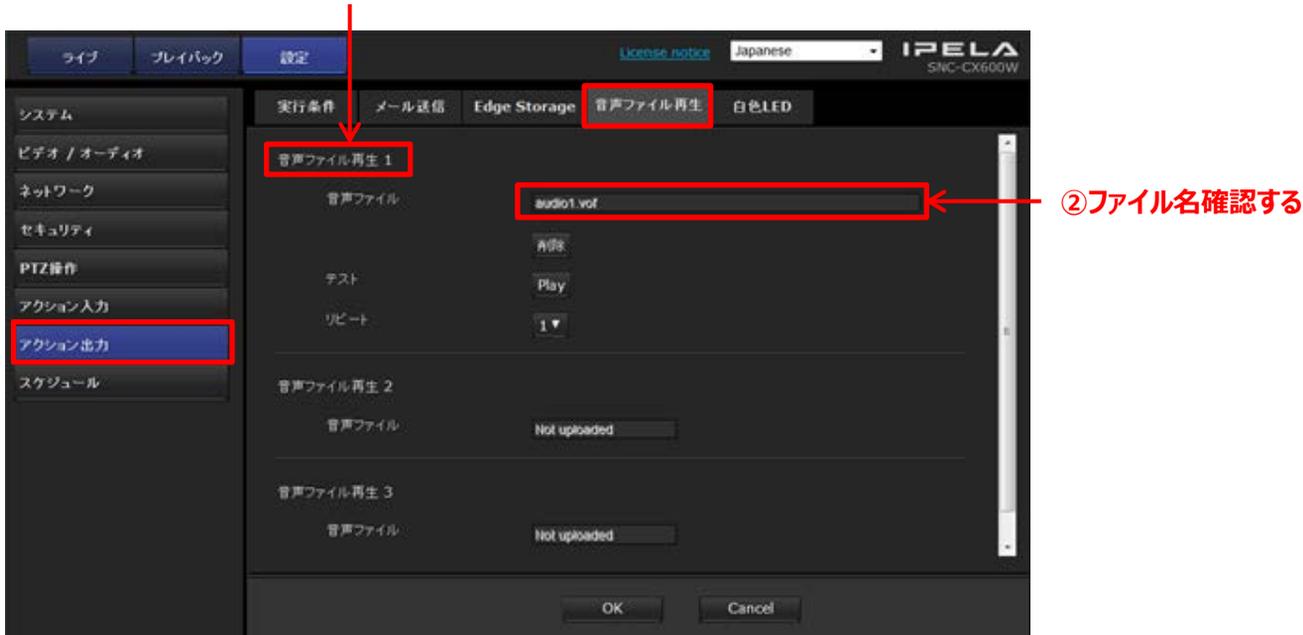
3. [ビデオ/オーディオ]の[オーディオ]で、オーディオアップロードの有効に チェックされているか確認する。



チェックを確認する

4. [アクション出力]の[音声ファイル再生]で、アップロードされている音声ファイル再生番号とファイル名を確認する。

① 音声ファイル再生番号確認する



5. [実行条件]で、手順4で確認した音声ファイル再生番号を人感センサーに設定し[OK]をクリックする。



[OK]クリック後、音声ファイル再生の設定が、人感センサーに変更されていければ設定完了です。カメラの前で手を振り、音が鳴ることを確認してください。

ご注意

- ・人感センサー以外の実行条件に設定する場合は、別途アクション入力の設定が必要です。詳しくは“ユーザーガイドの【カメラ妨害検知／動体検知を設定する】”をお読みください。
- ・様々な実行条件を組み合わせたい場合は、別途アクション入力の設定が必要です。詳しくは“ユーザーガイドの【カメラ妨害検知／動体検知を設定する】”をお読みください。



音声のリピート回数と音量を設定する

1. リピート回数を設定する

[アクション出力]の[音声再生ファイル再生]で設定できます。

The screenshot shows the IP-ELA web interface. The left sidebar has 'アクション出力' (Action Output) highlighted. The main content area is titled '音声ファイル再生' (Audio File Playback). Under '音声ファイル再生 1', the 'Repeat' dropdown is set to '1'. At the bottom, the 'OK' button is highlighted. Red arrows point from the 'Repeat' dropdown and the 'OK' button to red text labels on the right.

リピート回数を
設定する

設定後
クリックする

2. 音量を設定する

[ビデオ/オーディオ]の[オーディオ]で設定できます。

The screenshot shows the IP-ELA web interface. The left sidebar has 'ビデオ / オーディオ' (Video / Audio) highlighted. The main content area is titled 'オーディオ' (Audio). Under 'オーディオアップロード', the 'Volume' dropdown is set to '0'. At the bottom, the 'OK' button is highlighted. Red arrows point from the 'Volume' dropdown and the 'OK' button to red text labels on the right.

音量を
設定する

設定後
クリックする

3. microSDに映像を記録する（Edge Storage機能）

3-1. microSDを準備する

必ず、以下をご確認ください

カメラで使用可能なmicroSDについて

- ・Class 10対応のSDHCカード
 - ・動作保証温度：85℃以上のもの
- 上記の条件を満たす全てのmicroSDでの動作保証するものではありません。

推奨microSD

- ・SanDisk社製 ExtreamシリーズのmicroSD（動作確認済み）

カメラのソフトウェアバージョンに従って以下の手順にそって、設定してください。

ソフトウェアバージョン1.10.0以前は、こちら。

<手順>

- ①3-1-1
- ②3-2

ソフトウェアバージョン1.11.0以後は、こちら。

<手順>

- ①3-1-2
- ②3-2



カメラのソフトウェアバージョンの確認方法は

“4-5. カメラのソフトウェアバージョンを確認したい”をお読みください。

3-1-1. ソフトウェアバージョン1.10.0以前のカメラを使う場合

1. 使用するmicroSDをフォーマットする。

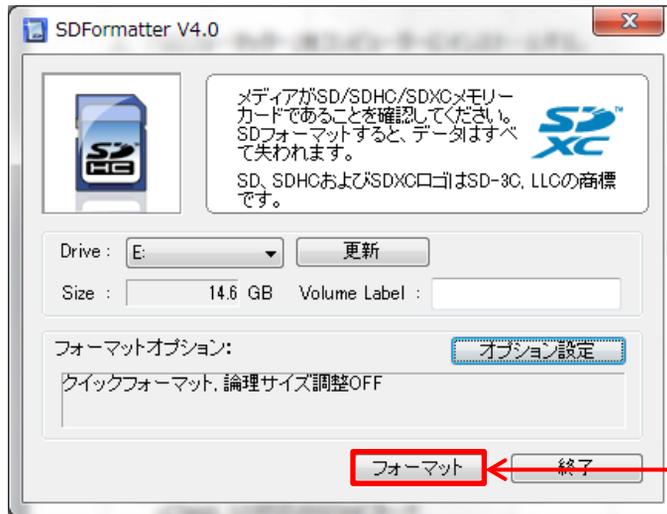
フォーマットには、SDアソシエーションから提供されているソフト「SDフォーマッター」を利用します。

①SDアソシエーションのWebサイトから「SDフォーマッター」のインストーラーをダウンロードする。

URL : <https://www.sdcard.org/home>

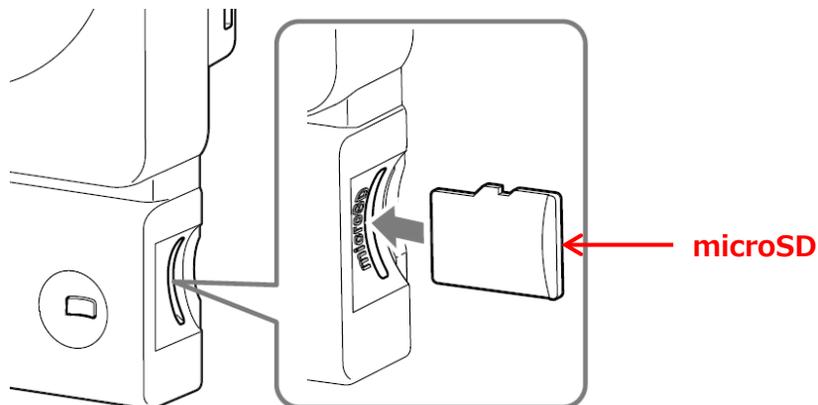
②「SDフォーマッター」をコンピューターにインストールする。

③コンピューターでmicroSDを読み込み、「SDフォーマッター」を起動して、**[フォーマット]**をクリックする。



完了確認画面で、**[OK]**をクリックすると、フォーマットは完了です。

2. **カメラの電源が切れている状態で**、microSDをカメラに挿入する。

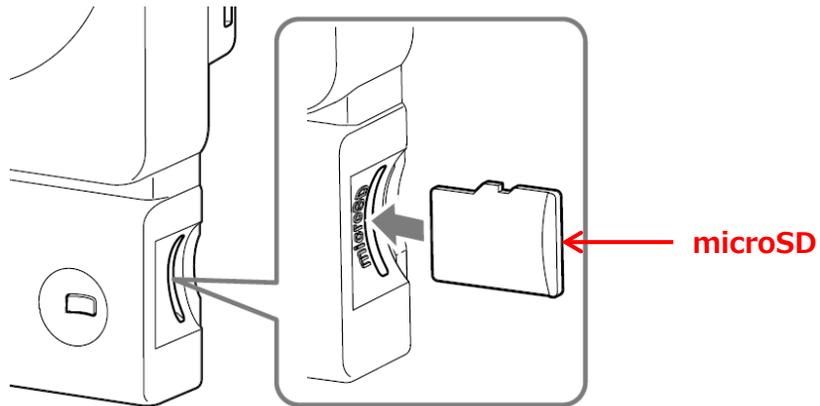


3. カメラの電源を入れる。

⇒**“3-2. カメラの時刻を設定する”**へお進みください。

3-1-2. ソフトウェアバージョン1.11.0以後のカメラを使う場合

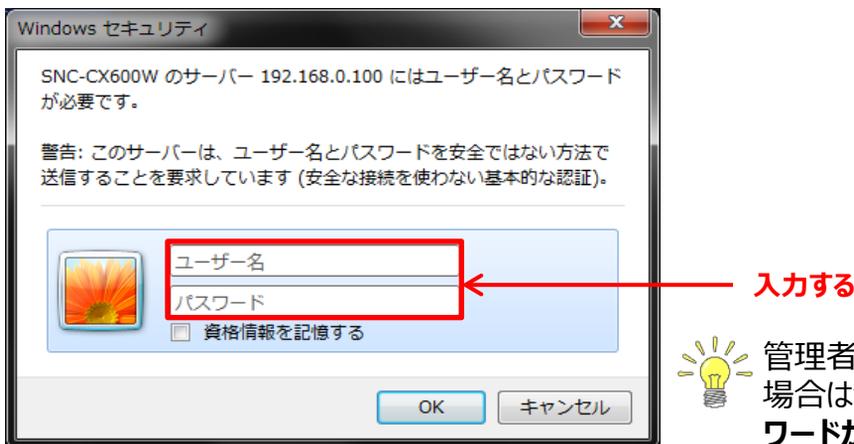
1. カメラの電源が切れている状態で、microSDをカメラに挿入する。



2. カメラの電源を入れ、Webブラウザからカメラにアクセスし、メインメニューの[設定]をクリックする。



3. 管理者パスワードを入力する。



 管理者ユーザー名やパスワードを忘れた場合は“4-4. 管理者ユーザー名やパスワードがわからない”をお読みください。

3. [システム]の[初期化]をクリックする。



4. [メモリーカード初期化]をクリックする。 (必ずソフトウェアバージョンが1.11.0以後であることをご確認ください)



クリック後、初期化が開始されます。

ご注意 メモリーカードの初期化には、32GBのmicroSDカードの場合で約1分かかります。



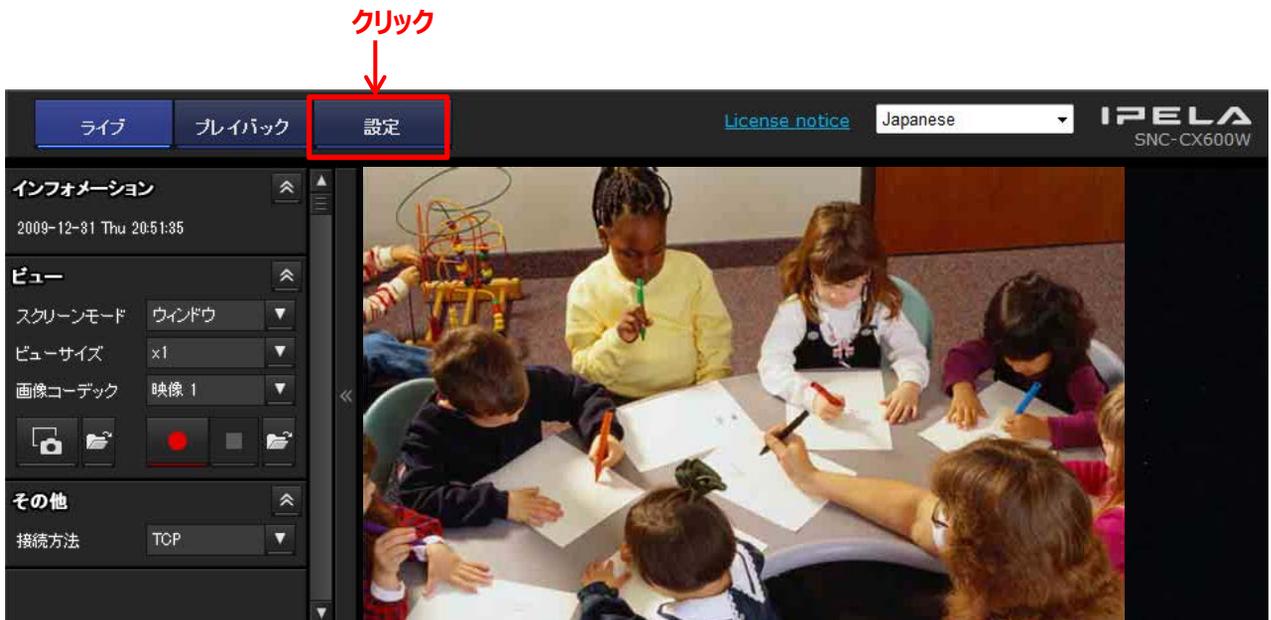
初期化できない場合は、[アクション出力]の[実行条件]で Edge Storageの設定をオフにしてください。



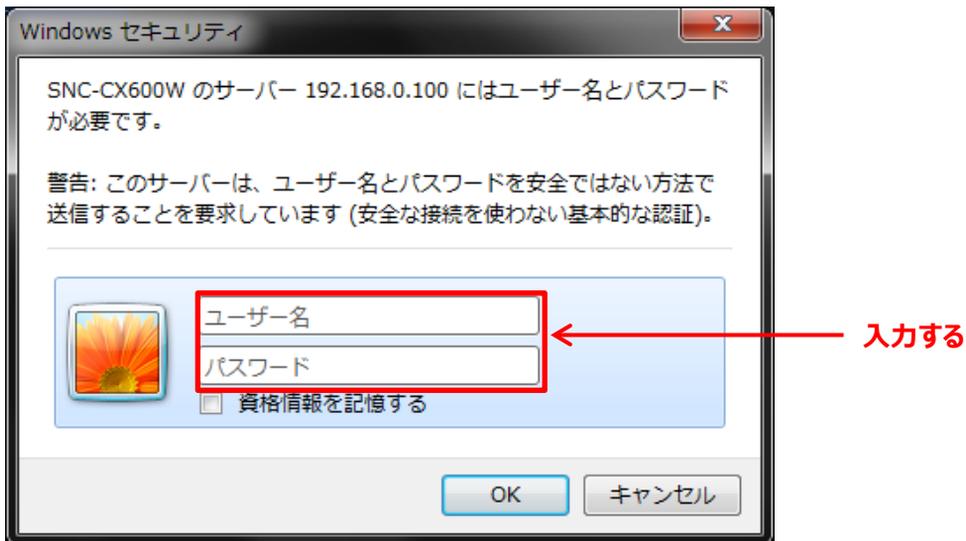
3-2. カメラの時刻を設定する

正確な時刻で映像を記録するために必要な設定です。

1. カメラのメインメニューで[設定]をクリックする。



2. 管理者ユーザー名とパスワードを入力する。



 管理者ユーザー名やパスワードを忘れた場合は
“4-4. 管理者ユーザー名やパスワードがわからない”をお読みください。

3. [システム]の[日付/時刻]で、時間設定をPC同期に設定し、タイムゾーン選択で適切なタイムゾーンを選択し、[OK]をクリックする。

ライブ プレイバック 設定 License notice Japanese IPELA SNC-CX600W

システム 情報 日付 / 時刻 設置 初期化 システムログ アクセスログ

日付 / 時刻

現在時刻 2010-01-01 20 : 36 : 53

コンピューターの現在時刻 2013-09-27 16 : 48 : 53

日付 / 時刻フォーマット 年 - 月 - 日 時 : 分 : 秒

時間設定 PC 同期

タイムゾーン選択 (GMT +9:00) Osaka, Sapporo, Tokyo

自動的に夏時間の調整をする

OK Cancel

PC同期に
設定する
適切な
タイムゾーンを
選択する

クリックする



手動で時刻を設定する場合

[システム]の[日付/時刻]で、時間設定を手動設定に設定し、適切な日付/時刻を選択し、[OK]をクリックする。

ライブ プレイバック 設定 License notice Japanese IPELA SNC-CX600W

システム 情報 日付 / 時刻 設置 初期化 システムログ アクセスログ

日付 / 時刻

現在時刻 2010-01-01 20 : 39 : 02

コンピューターの現在時刻 2013-09-27 16 : 51 : 02

日付 / 時刻フォーマット 年 - 月 - 日 時 : 分 : 秒

時間設定 手動設定

年 - 月 - 日 時 : 分 : 秒 12 01 01 00 00 00

タイムゾーン選択 (GMT -5:00) Eastern Time (US & Canada)

自動的に夏時間の調整をする

OK Cancel

手動設定に
設定する

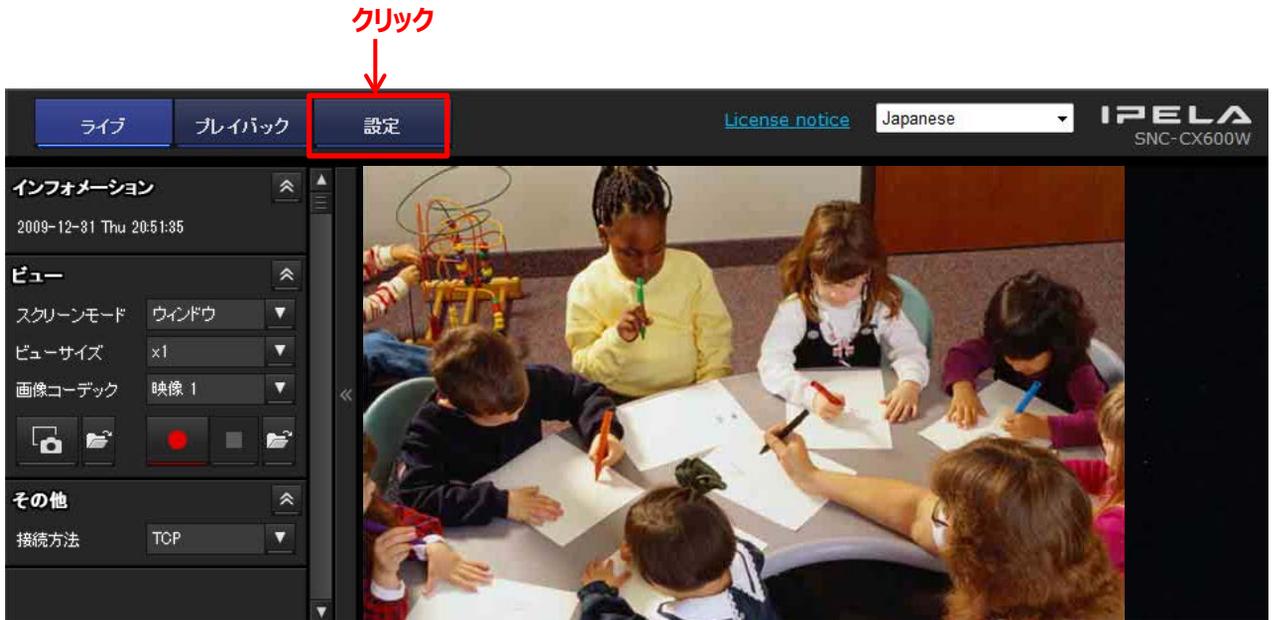
適切な
日付/時間を
選択する

クリックする

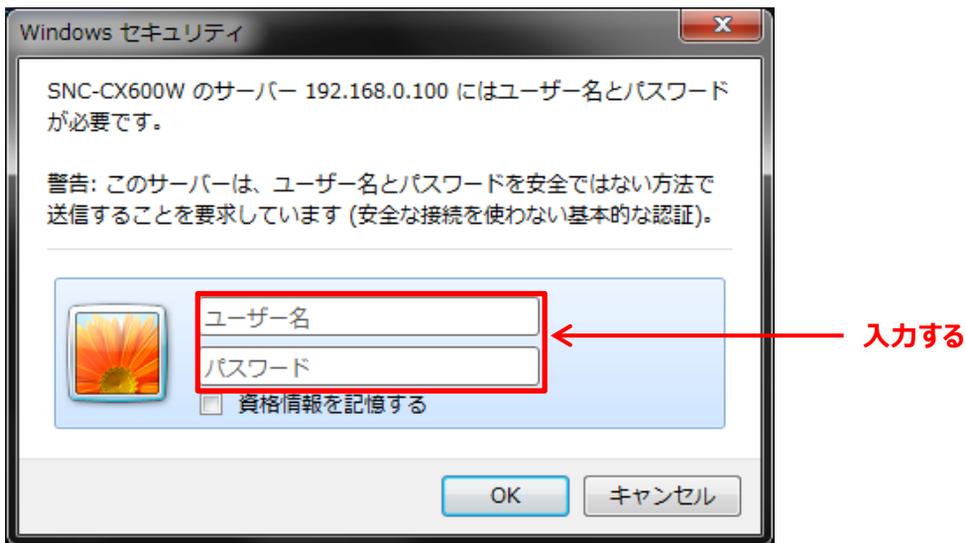
3-3. カメラの設定を変更する

3-3-1. 常時記録を行う場合

1. メインメニューの[設定]をクリックする。



2. 管理者ユーザー名とパスワードを入力する。



 管理者ユーザー名やパスワードを忘れた場合は
“4-4. 管理者ユーザー名やパスワードを忘れた場合”をお読みください。

3. [ビデオ／オーディオ]の[ビデオコーデック]をクリックし、以下の設定（推奨）を行い、[OK]をクリックする。

| | |
|-------------|------------|
| 画像コーデック | H.264 |
| 画像サイズ | 1280 × 720 |
| フレームレート | 5 fps |
| I ピクチャー間隔 | 1 秒 |
| H264 プロファイル | high |
| CBR | オン |
| ビットレート | 512 kbps |
| 映像2、映像3 | オフ |

①クリックする

②クリックする

③設定する

ライブ プレイバック 設定 License notice Japanese IPELA SNC-CX600W

システム
ビデオ / オーディオ
ネットワーク
セキュリティ
PTZ操作
アクション入力
アクション出力
スケジュール

画像 **ビデオコーデック** オーディオ スーパーインポーズ プライバシーマスキング ストリーミング

映像 1

画像コーデック 1 H.264

画像サイズ 1 1280x720

フレームレート 1 5 fps

Iピクチャー間隔 1 1 秒

H264 プロファイル 1 high

CBR 1 オン

ビットレート 1 512 kbps

映像 2

画像コーデック 2 オフ

映像 3

画像コーデック 3 オフ

OK Cancel

ご注意

設定後クリックする

上記以外の設定をおこなう場合は**制限事項**があります。
下記URLから「Edge Storageマニュアル」をダウンロードし、**必ずお読みください**。

URL : <http://www.sony.net/ipela/snc>

4. [スケジュール]を開き、Edge Storage動画の常時にチェックされているか確認する。

チェックする

The screenshot shows the 'スケジュール' (Schedule) configuration screen. The interface includes a top navigation bar with 'ライブ' (Live), 'プレイバック' (Playback), and '設定' (Settings) tabs. The '設定' tab is active, and the 'スケジュール' sub-tab is selected. The main area displays a table for scheduling actions. A red arrow points to the checked checkbox for 'Edge Storage 動画' (Edge Storage Video) in the '常時' (Always) row.

| アクション | メール送信 (イベント) | メール送信 (定期) | Edge Storage 動画 (イベント) | Edge Storage 静止画 (イベント) | Edge Storage 静止画 (定期) |
|-------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 常時 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | 間隔 00 時間 30 分 | | | 間隔 00 時間 00 分 10 分 | |
| 日 | | | | | |
| 月 | | | | | |
| 火 | | | | | |
| 水 | | | | | |
| 木 | | | | | |
| 金 | | | | | |
| 土 | | | | | |
| 日 | | | | | |
| 0:00 | | | | | |
| 6:00 | | | | | |

Buttons: OK, Cancel

5. [アクション出力] の [Edge Storage]で、下記の項目を確認、設定し[OK]をクリックする。

| | | |
|---|-----------|--|
| ① | SDメモリーカード | microSDの空き容量を確認する |
| ② | 上書き設定 | <input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れる |
| ③ | 記録対象 | 映像 1 を選択する |

The screenshot shows the 'Edge Storage' configuration page. Key elements include:

- 共通設定 (Common Settings):**
 - SDメモリーカード: Free space: 15095320Kbyte (indicated by red box ①)
 - 上書き設定: (indicated by red box ②)
- Edge Storage 静止画 (Edge Storage Still Image):**
 - 記録データ: バス: /sdcard/EdgeStoragePicture/
 - 映像 thumbnail (indicated by red box ③)
- Edge Storage 動画 (Edge Storage Video):**
 - 記録状態: 待機中
 - 記録対象: 映像 1 (indicated by red box ③)
 - 録画開始 / 録画停止 buttons
 - 記録可能時間:
 - プリアラーム: 30 秒
 - ポストアラーム: 7200 秒
 - 記録時間:
 - プリアラーム: 0 秒
 - ポストアラーム: 1 秒
- Buttons:** OK (indicated by red box and arrow) and Cancel.

設定後クリックする

6. [アクション出力] の [実行条件] でEdge Storage動画をタイマー実行に設定し [OK]をクリックする。

① クリックする

The screenshot shows the IPELA SNC-CX600W settings menu. The '設定' (Settings) tab is selected, and the '実行条件' (Execution Conditions) sub-tab is active. The 'Edge Storage 動画' (Edge Storage Video) setting is set to 'タイマー実行' (Timer Execution). The 'OK' button is highlighted at the bottom.

| 設定項目 | 設定値 |
|------------------|--------|
| メール送信 | オフ |
| Edge Storage 動画 | タイマー実行 |
| Edge Storage 静止画 | オフ |
| 音声ファイル再生 1 | オフ |
| 音声ファイル再生 2 | オフ |
| 音声ファイル再生 3 | オフ |
| 白色LED | オフ |

② タイマー実行に設定する

③ クリックする



[OK]クリック後、Edge Storage動画の設定が、タイマー実行に変更されていれば設定完了です。

3-3-2. イベント記録を行う場合

3-3-2-1. 単一のイベント条件を設定する

ここでは人感センサーが反応した際、一定期間、映像を記録するための設定を行います。

1. “3-3-1の手順3”までの設定を行う。
2. [アクション出力] の [Edge Storage] で、下記の項目を確認、設定し[OK]をクリックする。

| | | |
|---|-----------|--|
| ① | SDメモリーカード | microSDの空き容量を確認する |
| ② | 上書き設定 | <input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れる |
| ③ | 記録対象 | 映像 1 を選択する |
| ④ | プリアラーム | 10 秒 |
| ⑤ | ポストアラーム | 600 秒 |

① Free space: 15095320Kbyte

② 容量が4GB以上のSDメモリーカードを使用してください

③ 映像 1

④ 0

⑤ 1

設定後
クリックする

OK

3. [アクション出力] の [実行条件] で、Edge Storage 動画を人感センサーに設定し、[OK]をクリックする。

The screenshot shows the IPELA SNC-CX600W web interface. The left sidebar has 'アクション出力' (Action Output) selected. The main area shows the '実行条件' (Execution Condition) dropdown menu open, with '人感センサー' (Motion Sensor) selected. The 'OK' button is highlighted at the bottom.

| 設定項目 | 設定値 |
|------------------|----------|
| メール送信 | オフ |
| Edge Storage 動画 | オフ |
| Edge Storage 静止画 | 人感センサー |
| 音声ファイル再生 1 | ネットワーク切断 |
| 音声ファイル再生 2 | 動体検知 |
| 音声ファイル再生 3 | VMF |
| 白色LED | カメラ妨害検知 |
| | 顔検知 |
| | イベント条件 1 |



[OK]クリック後、Edge Storage動画の設定が、人感センサーに変更されていれば設定完了です。

3-3-2-2. 複数のイベント条件を設定する

ここでは複数のイベント条件を任意に設定し、その条件を満たした際、一定期間、映像を記録するための設定を行います。

1. “3-3-1の手順3”までの設定を行う。
2. [アクション入力] の [イベント条件] を開き、任意の条件を設定し、[OK]をクリックする。

例) 人感センサーか動体検知が反応した際、映像の記録を開始する場合

| | | |
|---|----------|--------|
| ① | イベント条件 1 | 1 or 2 |
| ② | 1 | 人感センサー |
| ③ | 2 | 動体検知 |

The screenshot shows the IPELA SNC-CX600W web interface. The left sidebar has 'アクション入力' (Action Input) highlighted. The main area shows the 'イベント条件' (Event Conditions) configuration. Under 'イベント条件 1', the condition is set to '1 or 2'. Below it, condition 1 is set to '人感センサー' (Person Sensor) and condition 2 is set to '動体検知' (Motion Detection). The 'OK' button at the bottom is highlighted with a red box and an arrow pointing to it from the text '設定後クリックする' (Click after setting).

ご注意

複数のイベント条件を設定する場合、「人感センサー」と「カメラ妨害検知」と「ネットワーク切断」は同時に設定することができません。

3. 上部のタブから、設定した条件の設定を行う。



各タブから設定した条件の詳細設定を行う



人感センサー以外のイベント条件は必ず設定してください。詳細な設定方法は“ユーザーガイドの【カメラ妨害検知／動体検知を設定する】”をお読みください。

4. “3-3-2-1の手順2”と同様に[アクション出力]の[Edge Storage]で、下記の項目を確認、設定する。

| | | |
|---|-----------|--|
| ① | SDメモリーカード | microSDの空き容量を確認する |
| ② | 上書き設定 | <input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れる |
| ③ | 記録対象 | 映像 1 を選択する |
| ④ | プリアラーム | 10 秒 |
| ⑤ | ポストアラーム | 600 秒 |

5. [アクション出力] の [実行条件]を開き、Edge Storage動画の設定をイベント条件 1 に設定して[OK]をクリックする。

イベント条件 1 に設定する

| 設定項目 | 設定値 |
|------------------|----------|
| メール送信 | オフ |
| Edge Storage 動画 | イベント条件 1 |
| Edge Storage 静止画 | オフ |
| 音声ファイル再生 1 | オフ |
| 音声ファイル再生 2 | オフ |
| 音声ファイル再生 3 | オフ |
| 白色LED | オフ |

設定後クリックする

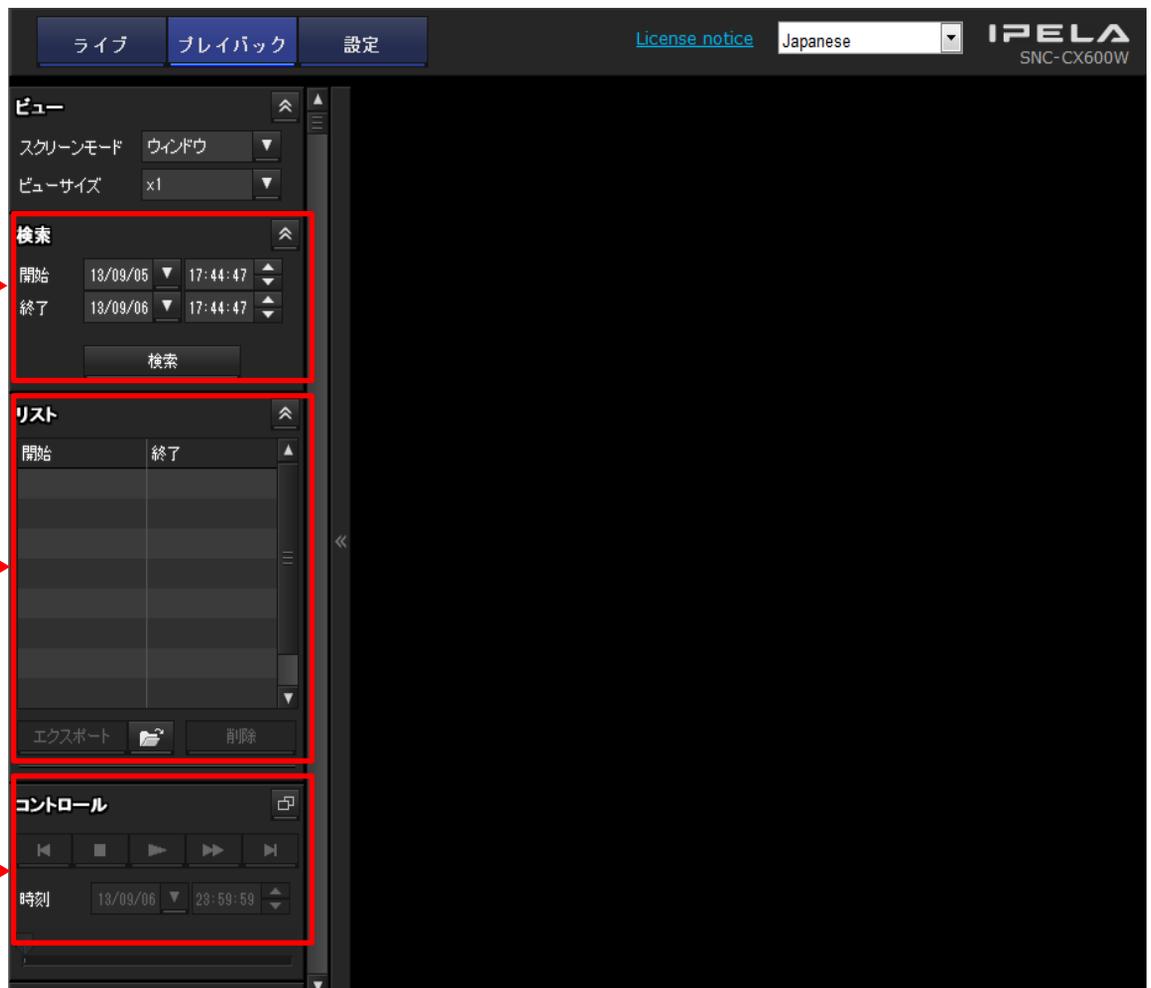
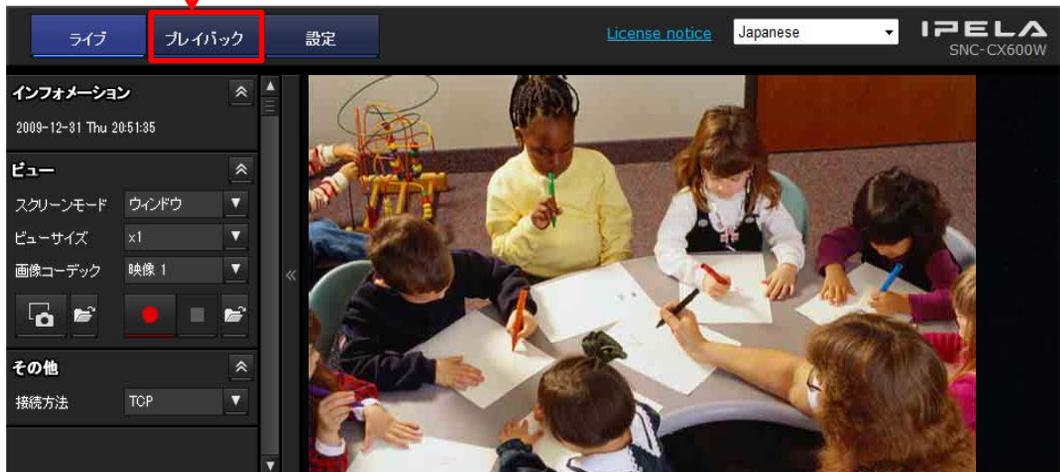


[OK]クリック後、[Edge Storage動画]の設定が、イベント条件 1 に変更されていれば設定完了です。

3-4. 録画された映像を再生する／保存する／削除する

再生/保存/削除は、[プレイバック]画面で設定します。

クリックする



3-4. 録画された映像を再生する／保存する／削除する

1. 検索パネルで、検索期間を指定し、[検索]をクリックする。



2. リストパネルに、検索結果が表示された後、再生したい動画を選択し、コントロールパネルの再生 (▶) をクリックする。



[コントロールパネル (詳細)]

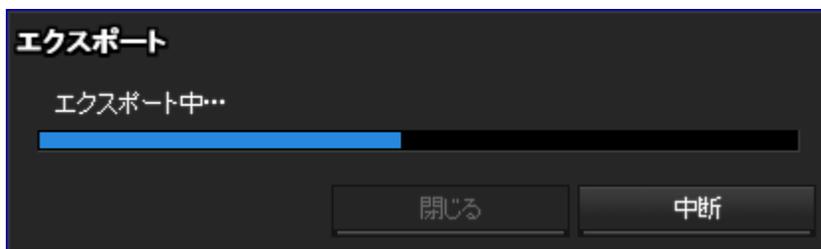


3-4. 録画された映像を再生する／保存する／削除する

1. 保存したい動画をリストパネルから選択し、[エクスポート]をクリックする。



2. エクスポート中のウィザードが表示され、完了したら、[閉じる]ボタンをクリックする。



 コンピューターに保存された動画ファイルはリストパネルのファイルオープン () をクリックすると表示されます。

 コントロールパネルの詳細で範囲を指定することで、その範囲を切り出して保存することができます。

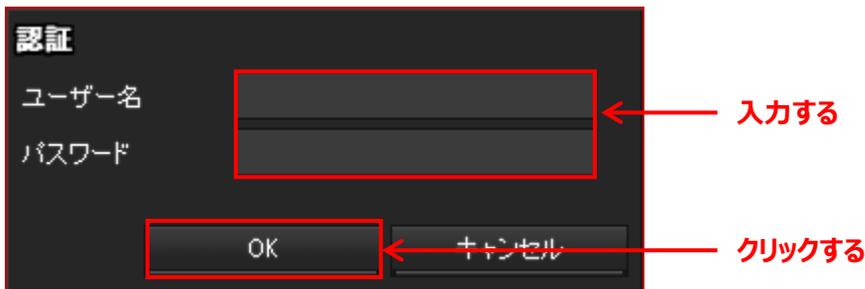


3-4. 録画された映像を再生する／保存する／削除する

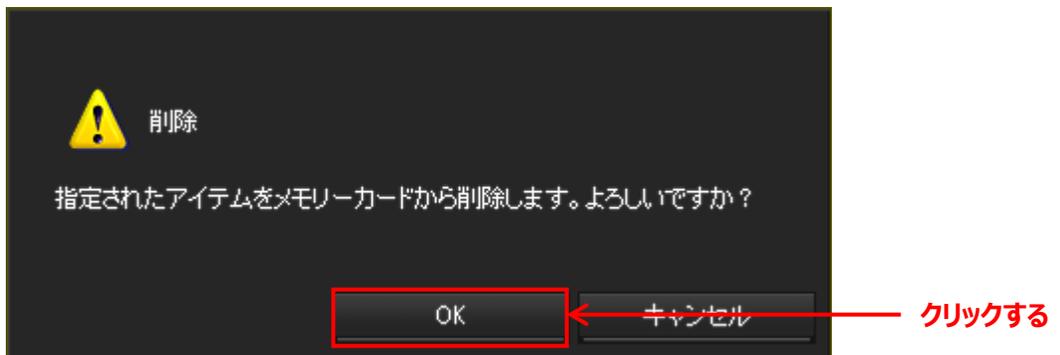
1. リストパネルの動画を選択し、[削除]をクリックする。



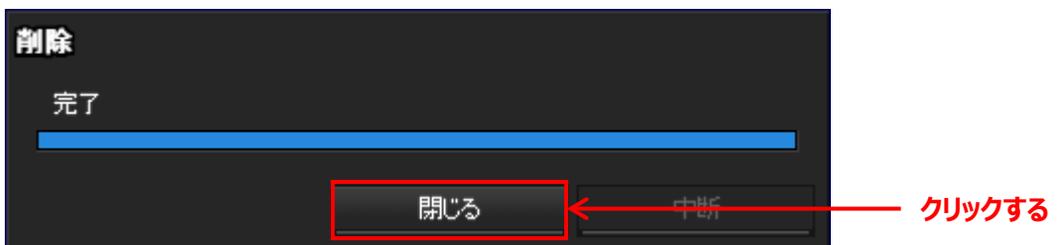
2. 認証ウィンドウに管理者ユーザー名とパスワードを入力し、[OK]をクリックする。



3. 削除してもよければ、確認ウィンドウで[OK]をクリックする。



4. 削除が完了したら[閉じる]をクリックする。



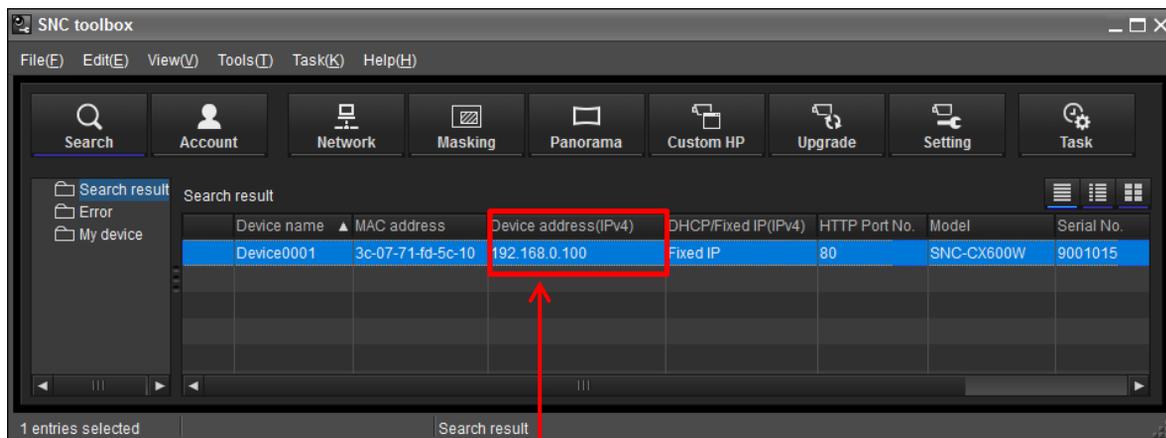
4. 困ったときは？

4-1. 白色LEDを強制点灯させたい

人感センサーや周囲の明るさに関係なく、強制的に白色LEDを点灯させ続ける機能です。カメラのソフトウェアバージョンによって手順が異なりますので、ご注意ください。

4-1-1. ソフトウェアバージョン1.10.0以前のカメラを使う場合

1. 「SNC toolbox」を起動し、白色LEDを点灯させるカメラのIPアドレスを確認する。



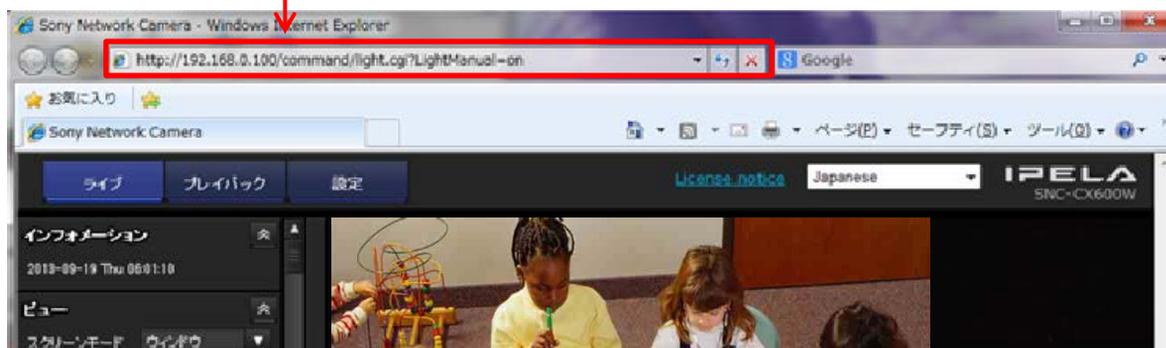
IPアドレス確認する

2. カメラの画を出し、下記のURLをアドレスバーに記入し、Enterキーを押す。

<http://XX.XX.XX.XX/command/light.cgi?LightManual=on>

確認した「IPアドレス」を記入する。

URL記入



3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力すると点灯する。
確認が終われば下記のURLをアドレスバーに記入してEnterキーを押し、消灯させる。

<http://XX.XX.XX.XX/command/light.cgi?LightManual=off>

4-1-2. ソフトウェアバージョン1.11.0以後のカメラを使う場合

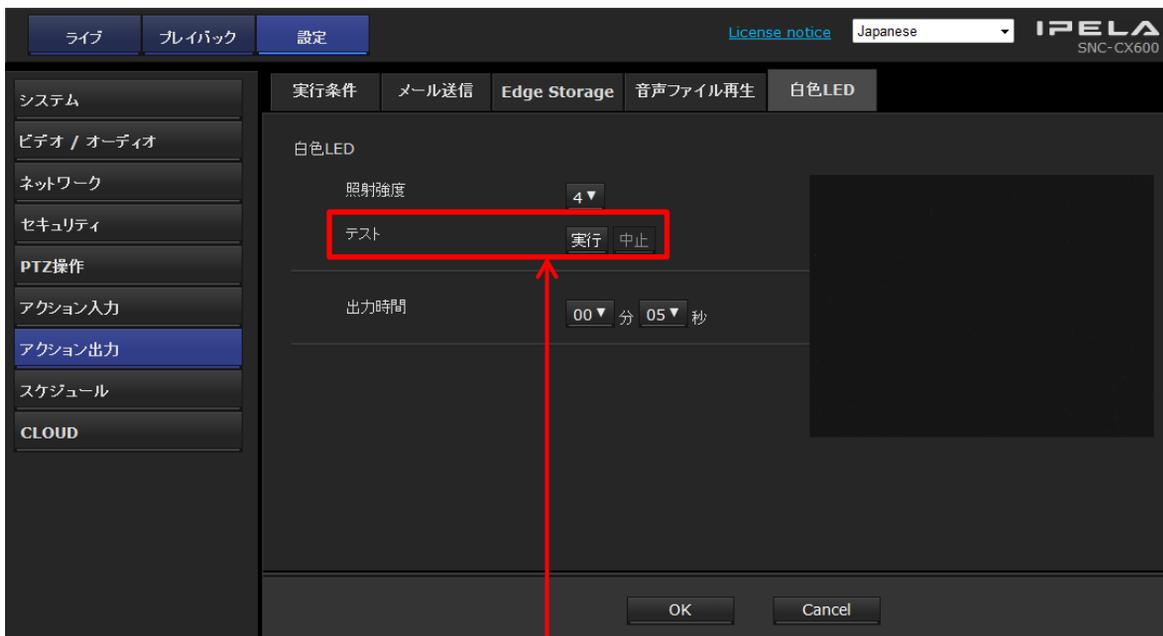
1. メインメニューの[設定]をクリックする。

クリックする



2. [アクション出力]の[白色LED]をクリックする。

- ①強制点灯を開始する場合はテストの[実行]をクリックする。
- ②強制点灯を終了する場合は**必ず**テストの[中止]をクリックする。

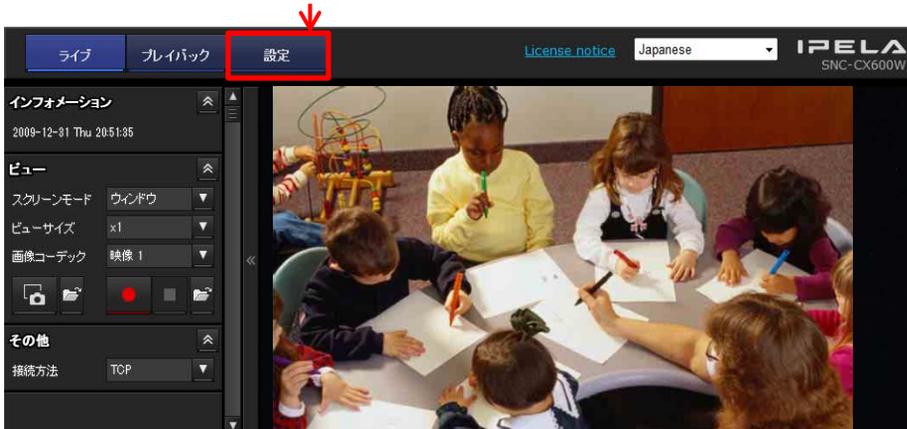


クリックする

4-2. 人感センサーの反応を確認したい

1. メインメニューの[設定]をクリックする。

クリックする



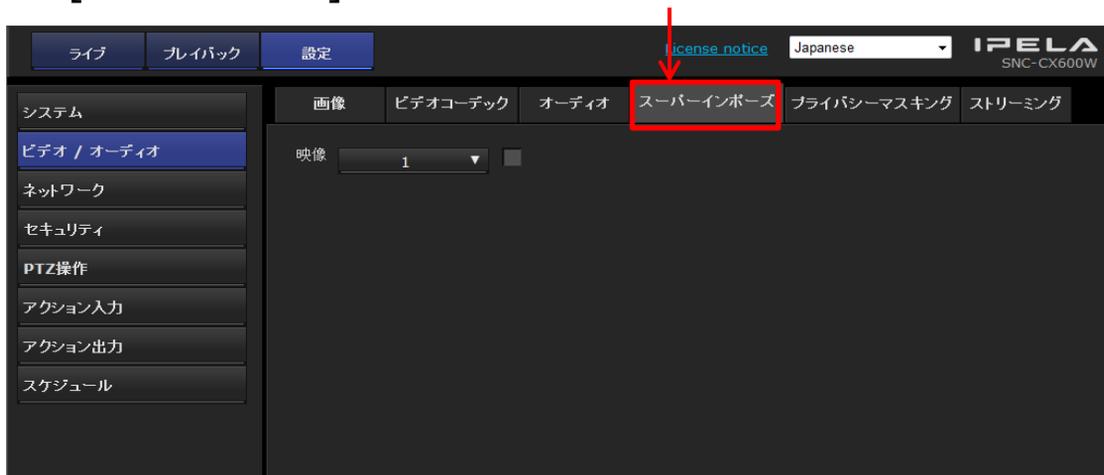
2. [ビデオ / オーディオ]をクリックする。

クリックする

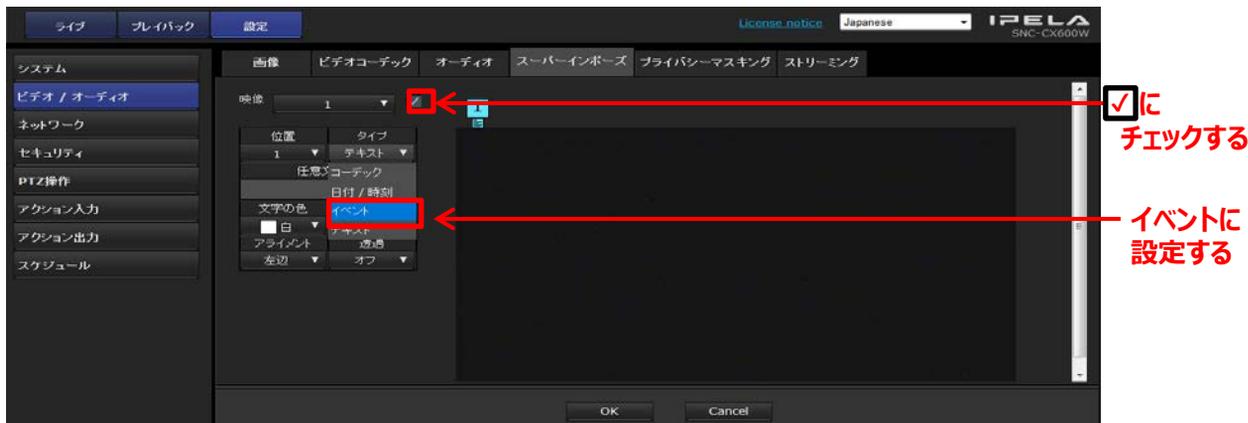


3. [スーパーインポーズ]をクリックする。

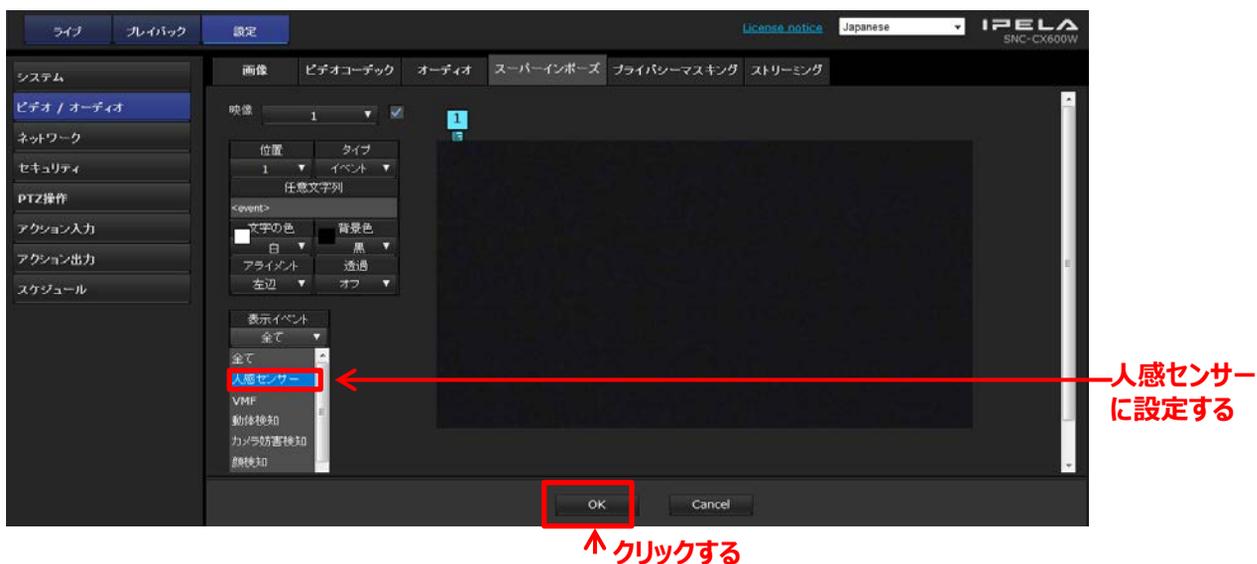
クリックする



4. チェックボックスに チェックを入れ、タイプをイベントに設定する。



5. 表示イベントを人感センサーに設定し、[OK]をクリックする。



6. [ライブ]に戻り、人感センサーを検知させると一定時間『Presence Sensor』と表示される。



ご注意

一定時間経過後、人感センサーが反応状態であっても表示が消えることがあります。

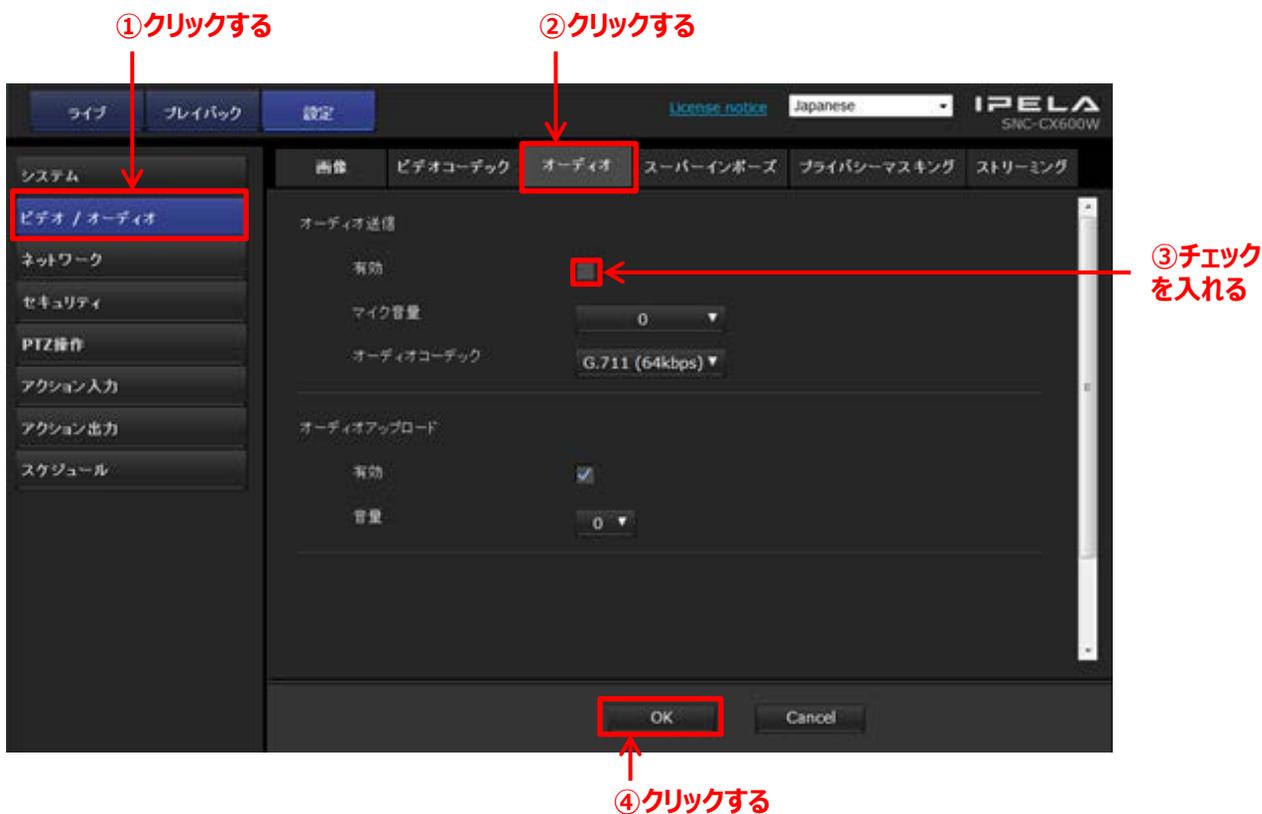
4-3. 映像を記録するときに録音したい

“3-3.カメラの設定を変更する”を行う前に、以下を設定してください。

1. メインメニューの[設定]をクリックする。



2. [ビデオ／オーディオ]の[オーディオ]をクリックし、オーディオ送信の有効に チェックを入れ[OK]をクリックする。



3. [アクション出力] の [Edge Storage] で、
記録対象のオーディオに チェックを入れ、[OK]をクリックする。

The screenshot shows the 'Edge Storage' configuration page. The 'Audio' checkbox under 'Recording Target' is checked. The 'OK' button is highlighted with a red box. Red arrows point from the checkbox and the OK button to external text labels.

チェックを入れる

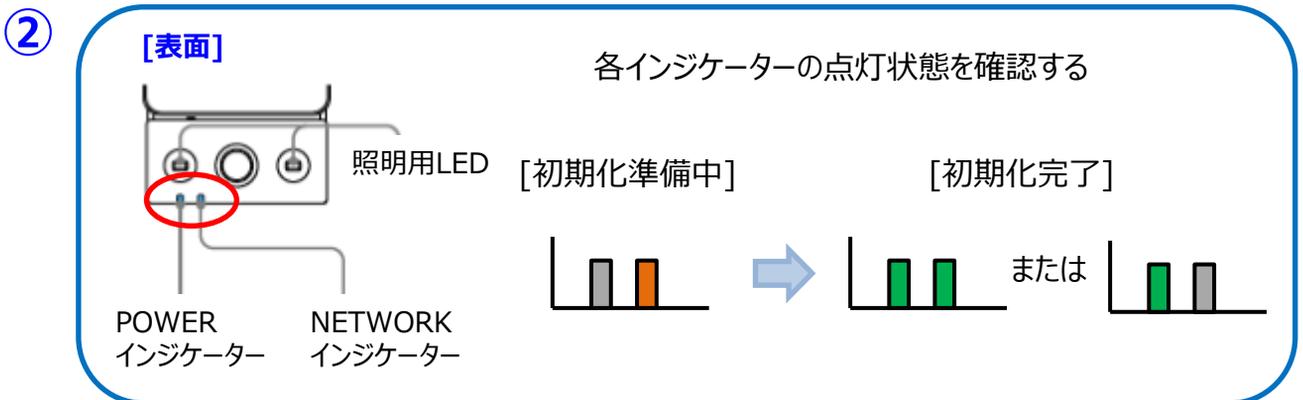
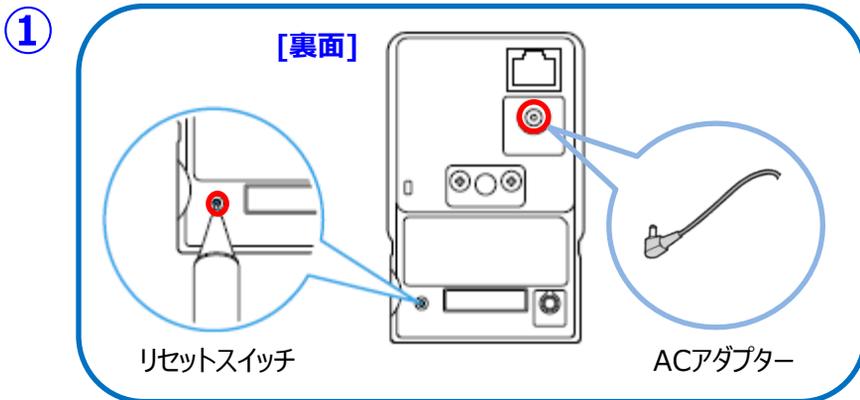
設定後
クリックする

以上の設定が完了しましたら、“3-3.カメラの設定を変更する”へお進みください。

4-4. 管理者ユーザー名やパスワードがわからない

管理者ユーザー名やパスワードを忘れた場合、**カメラの初期化を行う**ことで、ユーザー名とパスワードを工場出荷時に戻すことができます。管理者ユーザー名とパスワードの初期設定は、クイックスタートガイドの“**初期化について**”または、ユーザーガイドの“**管理者設定メニューの基本操作**”をお読みください。

1. カメラの電源を切る。
2. リセットする。
 - ① 先の細いもので、**リセットスイッチ**を押しながら、ACアダプターを**電源入力端子に接続する**。
(※CX600モデルの場合、ネットワークケーブルを、ネットワークポートに接続する。)
 - ② **POWER/NETWORK インジケータ**を確認する。



3. 数分後、初期化が終了し、POWERインジケータが**緑**に点灯する。

初期化完了にならない場合は、**上記の1.からやり直してください**。

ご注意

カメラの初期化を行うと、**すべての設定が工場出荷時の状態**になりますので、初期化を行う際はご注意ください。

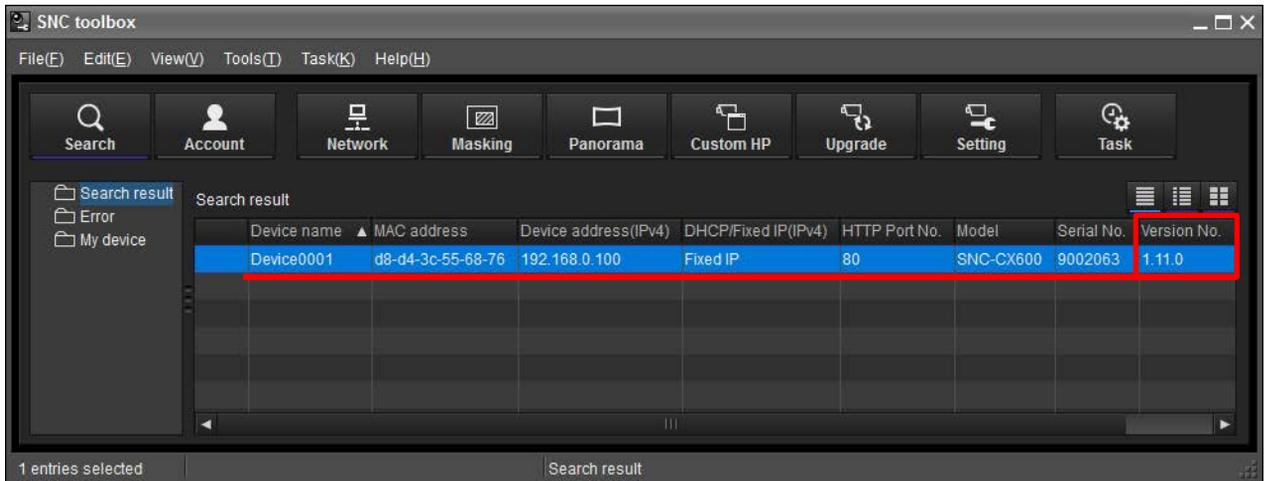
4-5. カメラのソフトウェアバージョンを確認したい

カメラのソフトウェアの確認方法は二つあります。

1. 「SNC toolbox」から確認する方法

接続されているカメラすべてのソフトウェアバージョンを同時に確認することができます。

- ①「SNC toolbox」を起動する。（詳細はP.4をお読みください）
- ②バージョンを確認したいカメラのモデル、シリアルNo等を確認し、そのバージョンを確認する。



2. カメラのメインメニューから確認する方法

webブラウザからソフトウェアバージョンを確認することができます。

- ①メインメニューの[設定]をクリックする。
- ②[システム]の[情報]のソフトウェアバージョンを確認する。



バージョンを
確認する

4-6. ブラウザ上で停止してしまった映像を復帰させたい

接続タイムアウト等のエラーで、Webブラウザ上のカメラ映像が停止してしまった場合の対処です。

1. Webブラウザの更新ボタンをクリックする。

※更新しても映像が表示されない場合、一度カメラの電源を入れ直して再接続してください。

※カメラを無線接続している環境において映像が頻繁に停止する場合、以下をお試ください。

- (1) ルーターに無線チャンネルの自動更新機能がある場合はOFFにしてください。
この機能が自動やONになっている場合、一時的に電波が遮断されることがあります。
- (2) ルーターの暗号化キーの更新時間を変更してください。
暗号化キーを更新をする際に、一時的に電波が遮断されることがあります。